

令和5年（2023年）11月2日

内閣府「地域中核大学イノベーション創出環境強化事業」に採択

【本件のポイント】

- 内閣府の令和5年度「地域中核大学イノベーション創出環境強化事業」に本学が採択。
（令和5年度配分額1.5億円）
- 本学の強みである有機材料システムを核とする社会実装力を結集し、地域との共創を通じて、山形県における高付加価値な新事業・新ビジネス創出の基盤となるイノベーションエコシステムを形成する。
- 事業期間は令和6年度までの原則2年間。

【概要】

内閣府の令和5年度「地域中核大学イノベーション創出環境強化事業」に本学が採択（申請件数38件のうち、採択10件。）されました。

同事業は、地域の中核となる大学が、独自のミッション・ビジョンに基づく強みや特色を最大限発揮し、地域ニーズに即した社会貢献活動を推進するとともに、同活動を通じた地域行政や産業界からの投資誘発を通じて、大学の財源多様化を進める事業です。

本学は、同事業において、強みである有機材料システムを核とした本学の社会実装力を結集し、地域との共創を通じて、山形県における高付加価値な新事業・新ビジネス創出の基盤となるイノベーションエコシステムを形成することを目指します。また、本事業を通じて地域の課題解決に貢献するとともに、地域中核大学としての機能の更なる充実を図ることによって、本学の経営基盤の強化を図ります

<主な取組（予定）>

- 取組1 地域の社会課題の発掘と解決策の方向性の提示（ニーズとシーズとのマッチング）
・・・産学官金医連携、県内における企業支援等関係機関との連携強化 他
- 取組2 地域の社会課題解決に資するイノベーションのシーズ創出
・・・YU-COEによるシーズ創出、山形大学異分野交流学会による社会課題の共有 他
- 取組3 イノベーション・シーズの地域産業界への技術移転の促進
・・・支援人材の強化。大学発ベンチャー支援 他
- 取組4 地域発のスタートアップの創出と育成
・・・ソーシャルイノベーション人材、DX人材の育成 他

※概要裏面のとおりに

<参考> 令和5年度「地域中核大学イノベーション創出環境強化事業」の選定結果について（令和5年10月5日）
内閣府 HP <https://www8.cao.go.jp/cstp/stmain/20231005daigaku.html>

お問い合わせ

研究情報部（五味・下間）

TEL 023-628-4844 メール yu-k-sangaku@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

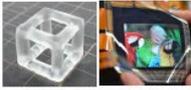
令和5年度 地域中核大学イノベーション創出環境強化事業 構想概要 | 山形大学  山形大学 Yamagata University

構想概要 **山形県の課題（イノベーションが起りにくい構造）を山形大学の社会実装力で解決する**
 山形大学の強みである有機材料システムを核とする本学の社会実装力を結集し、地域との共創を通じて、山形県における高付加価値な新事業・新ビジネス創出の基盤となるイノベーションエコシステムを形成する。本事業を通じて、地域の課題解決に貢献するとともに、地域中核大学としての機能の更なる充実を図ることにより、本学の経営基盤を強化する。

山形県の課題 | イノベーションが起りにくい構造

労働生産性 <small>低</small> 県平均3,796千円 (全国5,499千円)	平均所得 <small>低</small> 県平均289.8万円 (全国461.0万円)	下請け構造から脱却するための 新事業・新ビジネス創出 の基盤となる イノベーションエコシステム の形成が必要
創業比率 <small>低</small> 県平均3.63% (全国5.04%)	生産年齢人口流出 <small>全国1位</small> 社会減少率0.32%	

本学の社会実装力 | 強み“有機材料システム”を核に

有機材料システム  産学融合拠点創出事業「イノベ」経済産業省	国際的研究拠点 <small>ものづくり</small> - 基礎研究力 - 研究施設・装置 - 企業との共同研究 ベンチャー創出 高度専門人材育成	アグリフードシステム <small>食農</small> 先端研究センター 食と農の高付加価値化 鶴岡バイオコミュニティ 内閣府 アントレプレナーシップ <small>人材</small> 教員研究センター 一気通貫の人材育成 仙台スタートアップ・エコシステム 内閣府
--	--	---

具体的な取組み | 本学の社会実装力を結集し新事業・新ビジネス創出の基盤となるイノベーションエコシステムの形成

